

札幌医科大学附属病院

看護部案内

Sapporo Medical University Hospital
Division of Nursing





患者さんと共に考える看護をめざして

看護部の理念

札幌医科大学附属病院の看護職員は、道内における看護の発展に寄与する使命と最先端の医療を担う医療チームの一員としての役割を自覚し、発展的で創造的に看護を実践する責務を負う。

- 1 生命の尊厳と人権の尊重を看護の基盤とする。
- 2 社会と医療の動向を的確に捉え、時代の要請に応えた看護を提供する。
- 3 常に看護の本質を追求し科学的で創造的、かつ主体的に看護を実施する。

あいさつ

副院長・看護部長
兼看護キャリア支援センター長

工藤 美幸



札幌医科大学附属病院の看護職員は、患者さん一人ひとりの人権を尊重し、十分な説明と同意のもとにケアを行い、安全で質の高い看護を提供します。基盤となるのは倫理に基づく責任ある行動です。5段階のクリニカルラダーとレベルに応じた研修プログラムで自立した看護職員を育てます。

看護キャリア支援センターでは附属病院看護部と保健医療学部・助産学専攻科の連携のもと、看護職員のキャリア形成を支援しています。新採用職員には新人看護職員研修ガイドラインに添った充実した教育を提供し、職場適応支援として個別の面談も定期的に行い、職員を支えます。

認定看護師や専門看護師などキャリアアップへの途も広く開かれています。ロールモデルとなる先輩達がたくさんいます。札幌医科大学附属病院で看護師としての第一歩を踏み出しませんか。

看護師の第1歩を一緒にはじめてみませんか？

病棟紹介

南5階病棟

患者さんと共に歩む看護を目指しています

診療科/循環器内科

循環器・腎臓・代謝内分沁内科を中心とした病棟です。対象は成人期から老年期です。治療の基本は食事・運動・投薬です。一生涯、病気と付き合っていくため患者さんのライフスタイルを共に見つけ直し、自己管理できるように支援しています。患者さんから「息苦しさがよくなって歩けるようになった」「教えてもらったことに注意して生活していきたい」などの言葉がきかれ、退院後の生活を見据えた支援の大切さを日々、実感しています。病棟全体で専門的知識の活用を意識しており、心不全や糖尿病療養士などの資格取得を目指すなどスキルアップに積極的な部署です。



北6階病棟

周産期を中心とした各ライフサイクル期の女性とその家族への支援を行っています

診療科/産科周産期科+共用

産科24床、女性共用10床を有しており、スタッフは全員助産師です。他院からの母体搬送、未受診妊婦の受け入れなど札幌市の産科3次救急の一角を担っています。また、産科麻酔チームと協働し無痛分娩も行っています。産科には母体合併症・胎児疾患・複雑な社会的背景の方、女性共用には主に腫瘍内科・血液内科の方がいます。幅広い年代の多様な疾患の方を対象としているため、個性のある関わりを重視しています。ウェルネスの視点を大切に、患者さんとその家族が満足できるような看護を目指しています。



南10階病棟

患者・家族の意思決定を支援し、信頼、満足、安心していただける安全で質の高い医療・看護を提供することを目指しています

診療科/脳神経外科

当病棟は主に脳腫瘍、くも膜下出血、脳血管疾患、てんかんの患者さんが外科的治療を受けるために入院されます。また脳梗塞後遺症による神経再生治療を目的に入院される方もいます。術後のドレーン管理や人工呼吸器管理などの周術期看護や、術後障害が生じた際は、障害の受容に向けた精神的な支援、日常生活再獲得を目指した生活の工夫と指導を行っています。回復期には、他職種で連携し患者、家族の最善に向けた意思決定を支援し退院支援や退院調整を行うことを目標としています。



西5階病棟

子どもとご家族との関わりを大切にしています

診療科/小児科

私たちの病棟は小児病棟です。血液疾患や神経疾患、内分泌疾患、腎疾患、心疾患などの内科的治療を必要とする子どものほか、整形外科や形成外科などの外科的治療を必要とする子どもが入院しています。子どもとご家族との関わりを大切に、子どもとご家族が不安なく生活できるように、保育士や学校教諭も含めた多職種と協働し、スタッフ一丸となって看護しています。



手術部門

専門性の高い環境で活気良く明るい雰囲気です

心臓血管外科、消化器外科、脳神経外科、婦人科、整形外科など計13科の手術を日々行っています。開胸手術、鏡視下手術はもちろん、近年ではロボット支援下の手術も多く実施しています。患者さんが安全かつ安心してよりよい手術を受けられるよう、専門職として知識・技術を磨き、日々頑張っています。また、麻酔科医師、臨床工学技士、手術看護認定看護師による勉強会を毎年開催しており、専門職の方々から直接教えていただける、新人の皆さんも厚く学習できる環境です。



他の病棟については、ぜひ看護部のホームページもご覧ください



教育体制

私たち看護職には、様々な道筋があります。新人時代を経て中堅となり、看護実践の中で自分の目指す看護分野を見出してその道を進むスペシャリストになる方もいれば、幅広い領域で能力を発揮するジェネラリストになる方もいます。また、人生にはライフイベントもあるので、結婚や出産などで休業を経て、職場復帰を果たす方もいます。

看護職を目指している方の未来に夢が描けるよう、キャリア形成を支援します。

クリニカルラダー

クリニカルラダーは、看護職の臨床実践能力を段階的に示し、客観的に評価する基準であり、キャリア開発の指標となるものです。

看護実践能力

基本的看護技術から、特殊・専門的・高度な看護を実践する能力

組織役割遂行能力

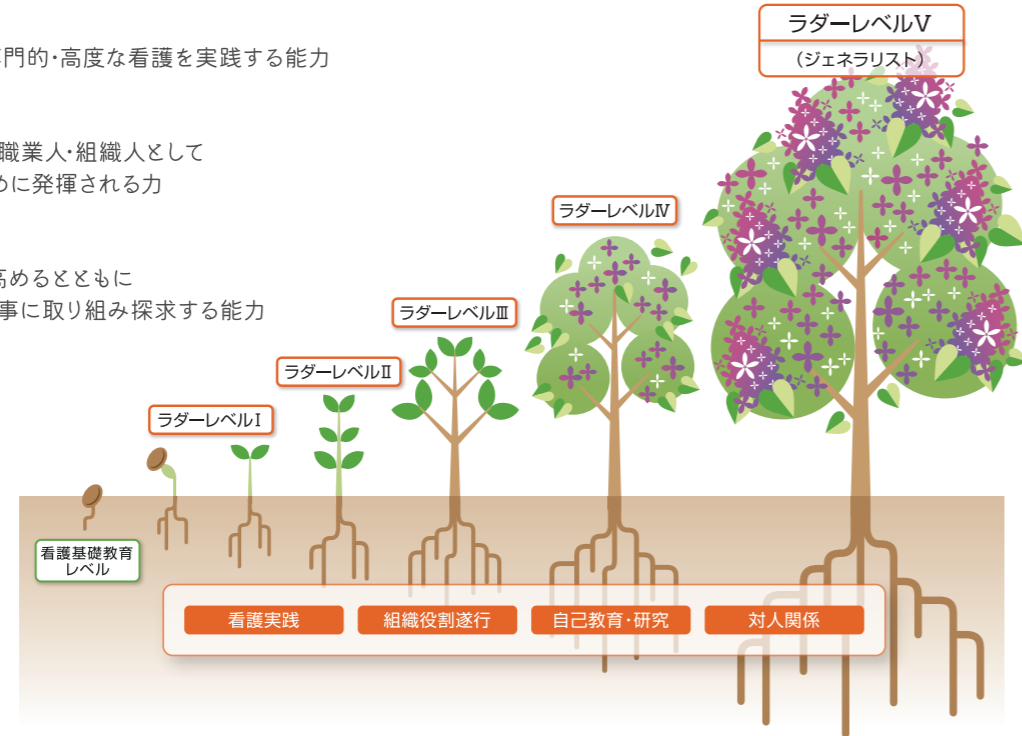
理念や目標達成に向けて専門職業人・組織人として求められる役割を遂行するために発揮される力

自己教育・研究能力

専門職として自己の実践力を高めるとともに看護の改善や発展のために物事に取り組み探求する能力

対人関係能力

多様な年代や立場の人との人間関係を形成する能力



新人教育

新人看護職員対象

新人看護職員に研修や職場適応相談などをを行います！

職場適応相談 (フレンズルーム)

FR

リアリティーショックの緩和や職場適応を促すための定期的な個別相談を行っています。



みんなで育てる！ 育てあう！！

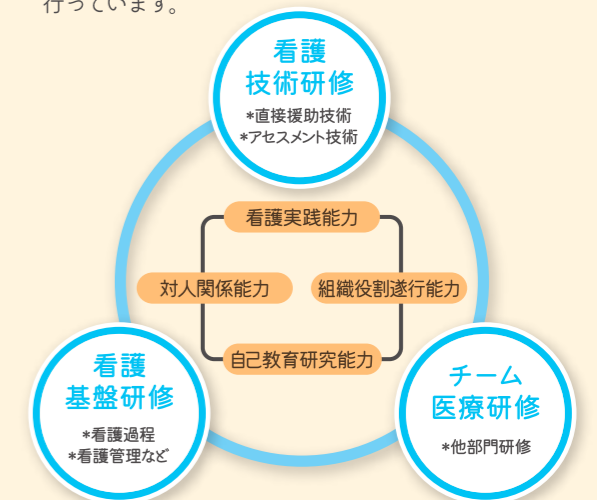
新人看護職員が職場適応し、自信を持って一歩ずつ臨床実践能力を獲得できるよう、「みんなで育てる、育てあう」サポート体制を整えています。



新人看護職員研修の特徴

新人看護職員研修は看護技術研修、看護基盤研修、チーム医療研修の3本柱で構成しています。

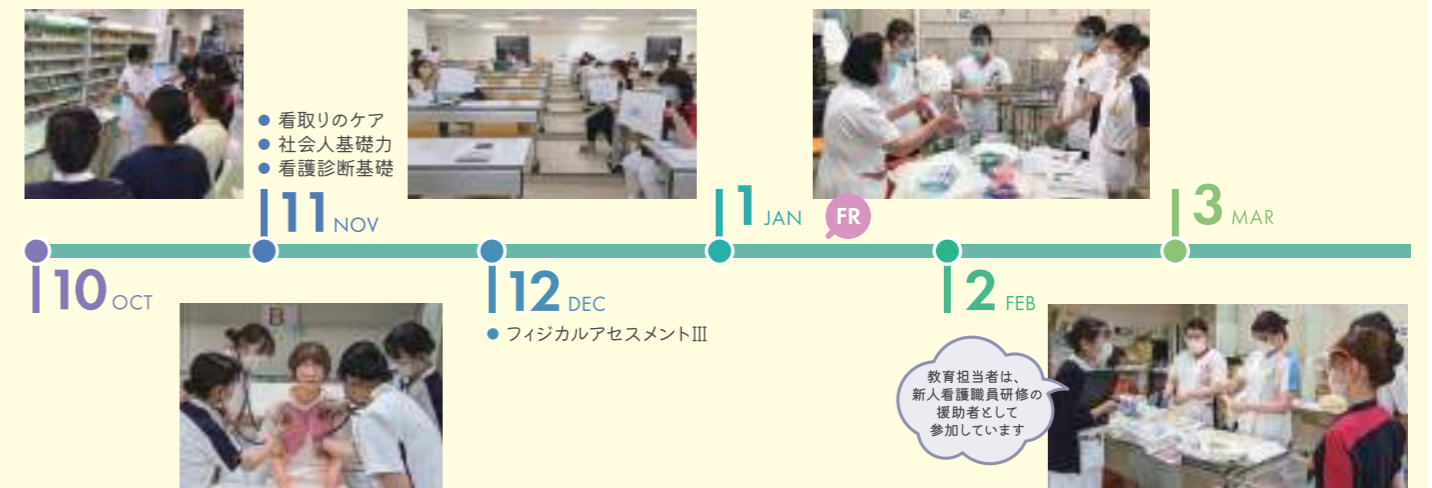
看護技術研修では、看護実践に共通する技術を習得し、看護基盤研修では看護実践に必要な知識を学びます。チーム医療研修ではチーム連携・協働のあり方を学ぶと共に、看護職としての役割認識を深めます。講師や教育担当者と協働し、新人看護職員の主体的思考態度を育む教育方法を取り入れた研修を行っています。



新人バッジ

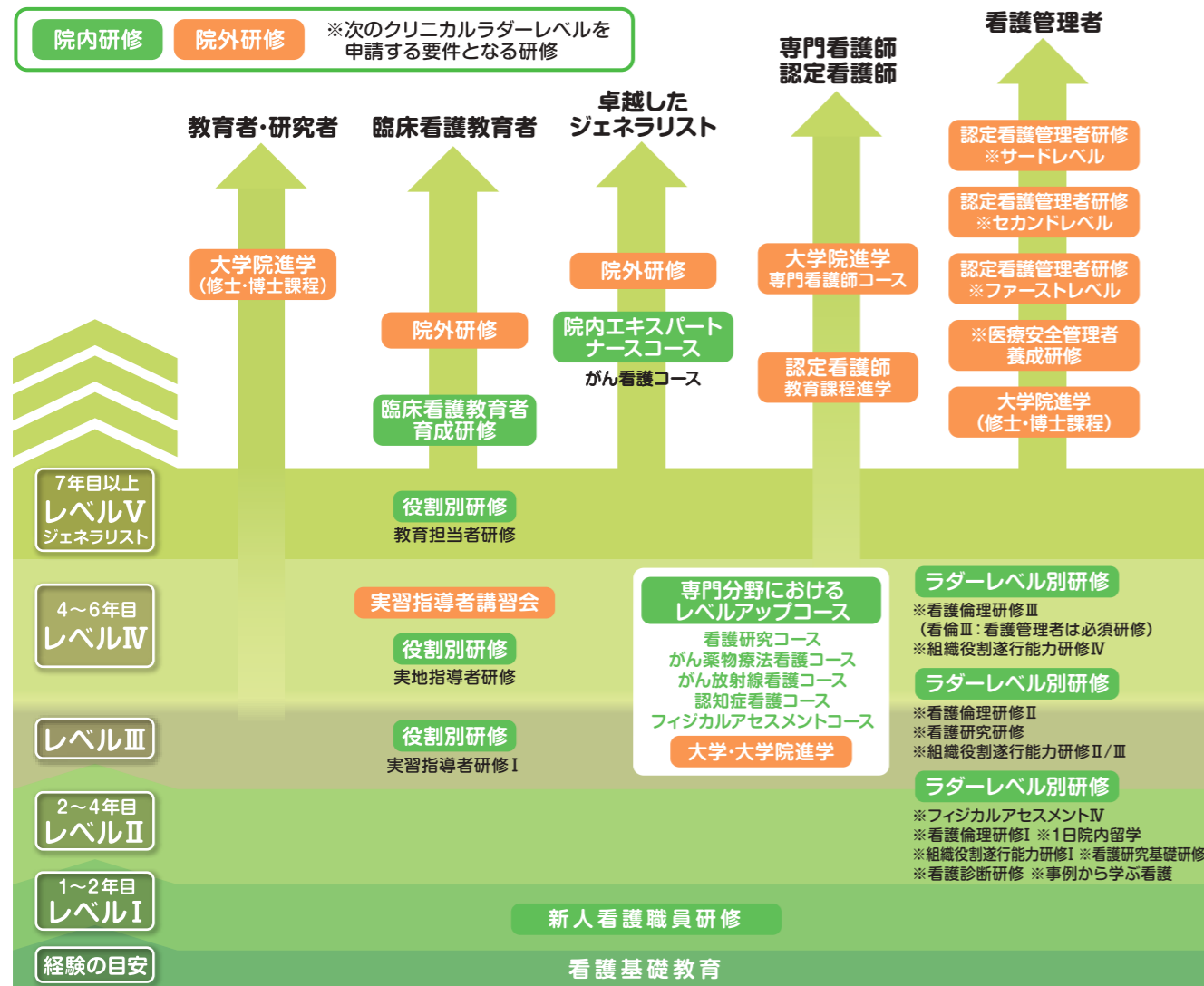
新人看護職員が初心者としての自覚をもち看護に取り組むため、また患者さん・ご家族・他職種へ新人であることを提示するために、1年間バッジを着用します。

新人看護職員の年間研修スケジュール



看護師2年目以降

札幌医科大学附属病院看護職のキャリアパスは、クリニカルラダーの段階にあわせたラダー別研修を行っています。院外研修や卒後教育（大学院進学など）を経て、認定看護師や専門看護師、看護の実践者として卓越したジェネラリスト、教育者・研究者や看護管理者へのコースなど多様な選択肢を提示しています。



中堅看護職員対象

中堅看護職員に研修やキャリア相談などを行います!

専門分野におけるレベルアップコース

看護職員の看護実践能力向上と院内全体の看護の質向上を目指し、特定の分野における研修を行っています。現在、「認知症看護コース」「看護研究コース」「がん薬物療法看護コース」「がん放射線療法看護コース」「フィジカルアセスメントコース」を開催しています。

認知症看護コース

「認知症ケア加算3」を算定している施設基準対応研修です。認知症の基礎知識から看護倫理・地域連携などを学び、事例をもとに、認知症者のアセスメント・ケアを考えます。



講師の皆さま

教育担当者研修・実地指導者研修

新人看護職員の教育を担う教育担当者・実地指導者への研修を行っています。

院内エキスパートコース

質の高い看護を提供するために、当院の職員に求められる役割を發揮し、自部署の看護の向上や課題解決に向けて実践する能力を養う研修を行っています。

キャリア a・re・ko・re 交流会

多様なキャリアを経験した看護職と交流します。専門性の高い看護職や、子育てをしながら働く看護職、海外で活躍した経験のある看護職と対話できる機会をつくり、自らのキャリアを築いていくことを支援します。

医大病院の魅力は??

南5階病棟 城内 尚



私は、入職時、呼吸器・アレルギー内科で主に呼吸器疾患患者の看護を行っていました。2017年には呼吸器分野への関心から慢性呼吸器疾患看護認定看護師資格を取得しています。そして現在、循環器・腎臓・代謝内分泌内科に所属しています。

当院は30診療科を有しており、多くの学びを得ながら看護を実践できる場があります。部署を異動すると、また新しい視点で自身の関心や専門性を高めることができます。また、看護に対する志の高い多くのスタッフと接する機会があることや共に見聞を広げられることが、当院の大きな魅力になっていると思います。

北6階病棟 吉田 絢子



私は入職時、助産師として産科周産科に配属され、分娩や未熟児の呼吸器など多くの看護技術を習得しました。育児休暇を経て、血液内科・外来化学療法室を経験し、幅広い年代への看護や終末期看護に触れ、多様な人生への関わりに看護の幅が広がりました。その後、新人看護職員の教育に携わる看護キャリア支援センターに異動となり、教育の奥深さを経験し、新人看護職員の葛藤や成長を通し、教育の大切さを実感しました。そして現在は、3人の子育てをしつつ産科周産科・共用科の副看護師長をしています。

経験の積み重ねは私の強みであり、様々な診療科を経験できることが大学病院で働くことの強みです。

育児中の看護職員対象

子育てしながら働く看護職員を支援します!

ママパパフレンズ ～働くママ&パパの交流会～



育児をしている看護職員や将来出産・育児を予定している看護職員が、それぞれの立場で思いの表出や情報交換をしながら交流することでリフレッシュし、育児と仕事を両立し看護職としてのキャリアが継続できるよう支援します。

ママパパフレンズサポートブック

育児に関する様々な規程や当院看護職員の具体的な1日のタイムスケジュールなどを掲載しています。



臨床看護教育者育成

教育のスペシャリストを育てます!

臨床看護教育者育成研修

臨床現場において看護基礎教育・継続教育に係わる指導者として教育的な知識・技術・態度を備え、学習者の特性に即した教育指導を実施することができ、臨床教育の場でリーダーとしての役割を担える教育者を育成する研修を行っています。

修了者には、バッジが授与されます!!



新人看護師の1日

AM8:30



おはようございます!
今日も患者さんのために
がんばります!!

AM8:45



先輩と一緒に
情報収集!!

AM9:00



患者さんの病室へ!



PM12:00



休憩中!!

AM10:30



清拭をします。

AM9:15



バイタルサインを測定!

PM13:30



採血をします。



点滴を作ります



PM14:00



多職種カンファレンス!!

PM15:00



レントゲン室へ

PM17:15



勤務終了☆
おつかれさまでした

PM16:00



1日の看護を先輩と
振り返ろう!!



看護体制

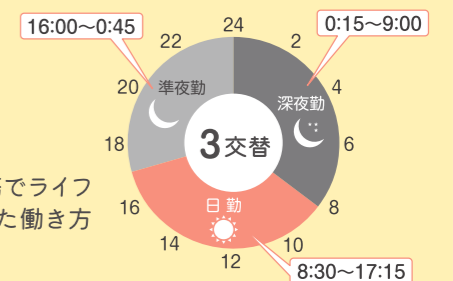
PNS®(パートナーシップ・ナーシング・システム®)を導入しています。

2人の看護師が安全で質の高い看護を共に提供しています。



勤務体制

3交替制勤務でライフスタイルに合った働き方ができます。



新人 Nurse



- Q 入職したきっかけは何ですか?**
A 高度な医療を必要としている患者さんに寄り添い、支えられるような看護をしたいと思ったからです。
- Q 実際に働いてみて良かったことは?**
A 看護技術や看護をする上で必要な知識など想像していたよりも多くのことを学ぶことができているのでそこが良かったなと思っています。
- Q 職場の雰囲気はいかがですか?**
A とてもいいです。わからないことがあっても先輩に聞きやすく、安心しながら仕事をする事ができています。
- Q リフレッシュ方法を教えてください。**
A 友人と出かけたり、家でゆっくり過ごしています。
- Q これからの目標を教えてください。**
A 看護に必要な知識や技術がまだまだたくさんあるので、日々それらを学びながら様々なことに臨機応変に対応できるような看護師になりたいです!
- Q 当院を目指すみなさんへメッセージをお願いします。**
A 当院は多くのことを学び、それを実践して自分のものにできる環境が十分に整っていると思います。また、どんなことがあっても先輩方が助けてくださいますので安心して入職してきてください! 待っています!

新人指導 Nurse



- Q 新人指導をする上で心がけていることは?**
A 新人さんが話しやすい環境を作るよう心がけています。出来ていることや新人さんの良いところはどんどんフィードバックし、課題が見つければその都度一緒に振り返るようにしています。
- Q 新人指導をする中でうれしかったことは?**
A 新人さんの成長が感じられたときや、新人さんの働く姿勢を患者さんにほめてもらえたときは嬉しかったです。
- Q リフレッシュ方法を教えてください。**
A 温泉、サウナ 美味しいご飯を食べる
- Q これからの目標を教えてください。**
A 先輩や後輩に頼られるような存在になりたいです。

中堅 Nurse



- Q 今まで経験した部署はどこですか?**
A 整形外科病棟、ICU病棟
- Q どのようなところにやりがいを感じますか?**
A 患者さんと共に回復への過程を進むことができたり、患者さんや家族の支えになれるところにやりがいを感じます。整形外科では患者さんの退院を見据えたりハビリテーションなどの回復への支援、ICUでは重篤な患者さんの苦痛緩和や不安を抱えるご家族の支援など、部署の特徴や患者さんの置かれている状況が異なっても柔軟に役割を果たせることもやりがいを感じるポイントだと思います。
- Q これからの目標を教えてください。**
A 私は、RST(呼吸ケアサポートチーム)に所属しており、特定行為研修も受講中です。RSTの活動や、特定行為研修で得た知識や技術を活かし、自部署以外の患者さんにも、少しでも良い看護を提供できる様になりたいと考えています。

中堅 Nurse



- Q 今まで経験した部署はどこですか?**
A 消化器乳腺外科病棟、脳神経外科病棟
- Q どのようなところにやりがいを感じますか?**
A 患者さんの回復をサポートし、元気になった姿や笑顔がみられた時にやりがいを感じています。また実地指導者や部署のスタッフと協力しながら新人教育に携わる機会も増え、自身にとっても学びが多く、様々な看護観を学ばせてもらっています。
- Q これからの目標を教えてください。**
A 退院後もその方らしく、患者さんや家族が望む生活を送れるよう、他部署と連携しながらサポートしていきたいです。また教育を担う立場として、部署の看護の質の向上に少しでも貢献できればと思っています。

ママさん Nurse



- Q 今まで経験した部署はどこですか?**
A 脳神経外科病棟、内科外来
- Q お子さんは何人いますか?**
A 2人
- Q 育児と仕事の両立をするために工夫していることはありますか?**
A 時短家電の導入、宅配サービスなどのキット食材を使って料理すること、子供と一緒に勉強する時間を作ること。

- Q どのようなところにやりがいを感じますか?**
A 周りの方によくしていただき、毎日楽しく仕事が出来ていることです。患者さんやご家族の希望や困難に感じていることをスタッフ間で相談、地域連携センターやケアマネージャーとも連携し、介入できた時です。
- Q これからの目標を教えてください。**
A 自己の役割を考えながら仕事と育児の両立をしたいです。

専門看護師
Professional Nurse

がん看護、精神看護、小児看護、急性・重症患者看護、在宅看護

認定看護師
Certified Nurse

集中ケア、皮膚・排泄ケア、がん化学療法看護、緩和ケア、がん性疼痛看護、摂食・嚥下障害看護、手術看護、がん放射線療法看護、感染管理、認知症看護、慢性呼吸器疾患看護、慢性心不全看護、新生児集中ケア、乳がん看護、救急看護

急性・重症患者看護専門看護師
Professional Nurse



- Q 目指すきっかけを教えてください。**
A 救命センターの勤務が10年を過ぎたころから、自分が蓄積してきた経験をふまえて自己の看護を振り返り、看護の効果などを自分の中で明確にしたいと考えました。臨床で患者さんやご家族から私自身も様々な学びを得ていましたし、よりよい看護を提供したいと考えていましたので、大学院進学(専門看護師コースへの進学)を考えました。
- Q 仕事と学業の両立をするために工夫していたことはありますか?**
A 大学院在学中も附属病院でフルタイム(3交代)の勤務を継続することを決意して進学したので、両立の実現は大学院の指導教員、看護部長、一緒に働くスタッフの協力と支援があってこそでした。また、私は大学院在学中に出産や子育ても経験しましたので、各種休暇制度も活用しました。
- Q 現在の活動内容を教えてください。**
A 救命センターでの看護実践を基盤に、試行錯誤を繰り返しながら、専門看護師としての役割を実践しています。リソースナースとして、クリティカルケアに関する専門性を活かし、院内の急変対応や呼吸ケアチーム、倫理コンサルテーションチームでの活動を行っています。また、困りごとがあればスタッフと一緒に考え、複雑な問題であっても少しでも解決が進むように努めています。
- Q どのようなところにやりがいを感じますか?**
A 複雑な問題を抱えても医療チーム全体で解決に向かい、患者さんとその家族、看護スタッフ、医師などが、全方向的に「よかった」と思えるようなケアへの調整ができたときでしょうか。「どうしたら実現可能か…」を考え、あきらめずに取り組み、よりよいケア実現のために実施したことの効果が見えたとき、やりがいを感じます。

がん看護専門看護師・
がん化学療法看護認定看護師
Professional/Certified Nurse



- Q 目指すきっかけを教えてください。**
A 血液・消化器内科に配属されていた際に、がんの患者さんと多く出会い、がん看護に興味を持つようになり、認定看護師を目指しました。また、がん化学療法認定看護師として治療期の患者さんと接する中で、治療期を経て、サバイバーとして生きていく、あるいは終末期を迎える患者さんに対し、患者さんを取り巻く家族や社会を包括的にアセスメントし、ケアできる看護師になりたいと考えたことが専門看護師を目指す大きなきっかけとなりました。
- Q 仕事と学業の両立をするために工夫していたことはありますか?**
A 認定看護師の研修中、仕事は免除されていたので両立に苦労することはありませんでした。専門看護師になるため大学院に進学した際は、本来2年間の履修期間を3年間の長期履修にし、その間の自分の仕事の進め方、大学院での講義の履修や研究への取り組みのバランスを考えながら年間スケジュールを立てました。
- Q 現在の活動内容を教えてください。**
A 院内では外来化学療法室での活動を中心に、院内研修や研究のサポート、院内スタッフからの相談対応などを行っています。院外では他大学の非常勤講師や、製薬会社等が開催するセミナーの講師、専門誌への執筆等などの活動をしています。
- Q どのようなところにやりがいを感じますか?**
A 認定看護師、専門看護師として専門的な知識・技術をもって患者さんのケアを実践できることや、スタッフからの相談を受け、問題解決に向けて一緒に考える機会が増えたことは大きなやりがいになっています。

認知症看護認定看護師
Certified Nurse



- Q 目指すきっかけを教えてください。**
A もともと認知機能が低下している方の看護が苦手でした。今後の看護師人生を考えて、何か専門的に深めたいと思っていた頃に認知症看護認定看護師を募集していると聞き、苦手を克服するためにも目指しました。
- Q 仕事と学業の両立をするために工夫していたことはありますか?**
A 全てはできないので、優先順位を考えて行動していました。
- Q 現在の活動内容を教えてください。**
A 認知症看護に関する講義、院内の認知症やせん妄などの困難事例への対応、看護スタッフに対する認知症看護の相談・指導、高齢者ケア委員会運営メンバーとして活動しています。
- Q どのようなところにやりがいを感じますか?**
A 講義の参加者に「学びを実践に取り入れてみようと思う」「根拠を持って看護できそう」と言ってもらえると、認知症看護の質向上に多少なりとも力添えできたと思えばやりがいを感じます。

小児看護専門看護師
Professional Nurse



- Q 目指すきっかけを教えてください。**
A 看護師になるきっかけが小児看護であり、長く小児看護に携わりたいと思うなかで専門的な知識や根拠ある実践をしたいと思い専門看護師を目指しました。
- Q 仕事と学業の両立をするために工夫していたことはありますか?**
A 時間を有効活用できるように、毎日計画的に課題や論文作成を進められるようにしていました。また、休むときは休むというメリハリをつけていました。
- Q 現在の活動内容を教えてください。**
A 病棟内での実践やコンサルテーション、他病棟からのコンサルテーションを主に行っています。また、看護大学での看護学生への講義、演習援助も行っています。
- Q どのようなところにやりがいを感じますか?**
A 病棟のスタッフと共に子どもたちにとってより良い看護を考え実践することや実践により子どもたちやご家族の笑顔がみれることにやりがいを感じています。